

平成27年 秋の全国交通安全運動

期間:2015/9/21(月)~30(水)
<9月30日は、「交通事故死ゼロを目指す日」>

「タバコの灰を・・・」 ”よそ見をした”

路肩の男性はねられ1人死亡4人けが 車運転の男逮捕

2015.9.19

19日午前2時半ごろ、愛知県の県道で、乗用車が路肩にいた男性5人をはねた。5人のうち1人が死亡、4人が重軽傷を負った。警察は自動車運転処罰法違反(過失運転致傷)の疑いで、運転していた会社員の男性容疑者(32)を現行犯逮捕した。はねられた5人はいずれも10代とみられる。容疑者は帰宅途中で、調べに対し、「たばこの灰を灰皿に入れようとして、よそ見した」と供述している。

大型スーパー付近、高齢歩行者の”危険横断”に注意!

トラック事故の特徴 ”追突事故”が多い

「わき見」の実態・・・「チョット」目を離している間、どれだけ前に進んでいるか?

「ヒヤリ」は、事故の「予兆!」
「安全確認」で、危険な「まさか・・・」を根絶!

- 子供の飛び出しに要注意!
- スピードを落として、しっかり安全確認!

バック時は 降りて確認 乗っても確認

追突、玉突き事故を防ぐ 交差点手前で止まる時は車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認/よ〜し!」

<北済協 安全情報>

赤信号交差点に進入し、出会い頭に衝突する事故が、 9月だけで、3件発生!

※当該事故による、死亡者は出ませんでした。が、「一歩間違えると死亡事故」につながる重大案件です

- 対人事故の約50%が、交差点で発生しています
- 交差点に進入、または通過する場合は、「注意力を最大限に」
- 「優先意識」は放棄! 横断歩道手前で、必ず「減速」、または「一時停止」

トラックが”第1当事者”の死亡事故、8月末で6.1%減少

2015年9月18日(金)

調査・データ警察庁が18日まとめた交通事故統計によると、事業用トラックが第1当事者となった死亡事故は1-8月末までの累計216件となり、2014年の同月時点と比べて14件(6.1%)減少した。自動車全体では1932件で55件(2.8%)減。

事業用トラックの内訳は、大型貨物が123件(7件、5.4%減)、中型貨物が63件(15件、19.2%減)、普通貨物が13件(1件、8.3%増)、軽貨物は17件(7件、70%増)。トレーラーは24件(1件、4%減)だった。自家用貨物車(大型、中型、普通、軽)が第1当事者となった死亡事故は417件(31件、6.9%減)で、トレーラーは1件(増減なし)だった。

”信号”が無く、”見通しが悪い”交差点 横断歩道の小4男児がはねられ重体 軽乗用車の63歳男を逮捕

2015/09/18

18日午後4時ごろ、滋賀県の交差点で、横断歩道を渡っていた小学4年の男児(10)が軽乗用車にはねられた。男児は病院に搬送されたが、全身を強く打ち意識不明の重体。警察は自動車運転処罰法違反(過失傷害)の疑いで、運転していた無職の男性容疑者(63)を現行犯逮捕した。現場は信号が無く、見通しが悪い交差点で、容疑者は「横断歩道を渡る子供に気付くのが遅れた」と話している。

トラックの”前方不注視” バンクで停車中に、大型トラックが追突、4人死傷

2015.9.18

13日午後11時10分ごろ、群馬県で路肩に停車していた乗用車に対し、後ろから進行してきた大型トラックが追突する事故が起きた。この事故で乗用車に乗っていた4人が死傷。警察はトラック運転手を逮捕している。追突によって乗用車は大破。後部座席に同乗していた20歳の女性が頭部強打でまもなく死亡。20歳の男性も頭部強打が原因で収容先の病院で死亡している。前席に乗っていたとみられる20歳の男性と、24歳の女性は打撲などの軽傷を負った。警察はトラックを運転していた34歳の男性を自動車運転死傷行為処罰法違反(過失傷害)の現行犯で逮捕。2人死亡後は容疑を同致死傷に切り替え、調べを続けている。警察ではトラック側の前方不注視が事故につながったものとみている。